

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成24年5月30日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府向日市鶏冠井町4ノ坪23		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 東洋ライト株式会社 代表取締役社長 畑 宏明
環境マネジメントシステムの名称	東洋ライト株式会社、環境マニュアル	
適用範囲	東洋ライト株式会社 向日町工場	
導入年月日	2006年 6月 8日	
認証番号	QAIC/JP/0037-S11	
基本方針	合成樹脂積層成形品の製造に携わる企業としての責任を自覚し、継続可能な発展を遂げるため、地球環境保全と健康・安全・衛生の向上を図る活動を推進し、お客様に信頼され満足していただく環境・安全尊重企業をめざす。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	環境目的・目標設定を定め、環境目的は中長期(3年)の視点から決め、環境目標は1年間(事業年度)の目標を定量化して活動を行う。 ① 工業用巻き芯の補修品の販売促進(リサイクル製品120本/月) ② 廃材ごみの削減、(リサイクル量のUPによる削減、25%以上)	
目標を達成するための取組の内容	環境影響評価シートによる、環境分析を行い、著しい環境側面と法的及びその他の要求事項と整合させて、環境目的、目標設定を定め、年度部門別環境目標実施計画書兼報告書にて報告する。 工業用巻き芯のリサイクル製品の促進の営業活動の活性化。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①工業用巻き芯のリサイクル品の受注数の増加にて順調に継続している。 ②廃材のリサイクル分別により廃出量の削減の取り組みを実施し達成している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	目標の達成状況は、当初の計画どおりに取り組む事が出来ている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規については、月1回の確認をおこなっている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回見直し検討の実施を行っている、目標及び取り組み内容についても一定の成果が見られたので、継続して同一のシステムにより運用して行く。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。